

さいとう健 特集



さいとう健
農林水産副大臣への
インタビュー他
2016年秋号

LIBERAL & DEMOCRATIC 自由民主

発行所: 自由民主党本部 定価1部108円(税込) 毎週火曜日発行
住所: 〒100-8910 東京都千代田区永田町1-11-23
電話: 03-3581-6211(代表) ホームページ: http://www.jimin.jp/

《ミニプロフィール》

昭和34年、小さな写真屋に生まれる。
大学時代は、ハンドボール部のキャプテンとして活躍。
零細企業に育ったこともあり、中小企業を担当する通商産業省に入省。
日米交渉や行政改革、地方行政(埼玉県副知事に意向)などに携わる。
平成18年衆議院千葉七区補欠選挙にて公募により選ばれるも、惜敗。
平成21年衆議院総選挙において、初当選。3期目。環境大臣政務官、
党副幹事長、党農林部会長を経て、現在、農林水産副大臣として
農協改革やTPPなど、安倍政権の最前線で奮闘中。
[趣味] ハンドボール、カラオケ、読書、映画
[好きな食べ物] ラーメン、焼肉(特にカルビとハラミ)
[尊敬する人物] 高杉晋作、原敬、鈴木貫太郎

去る8月30日に当選7周年を迎えたさいとう健さんに聞きました。

Q. さいとう健さんは、先日、農水副大臣に再任されました。自民党の農林部会長2年、農水副大臣は2期目に突入と、極めて異例な形で農林水産政策にたずさわっておられますが、最も大変だったお仕事は何だったのでしょうか?

さいとう健) 今後国内人口が大きく減少し農産物の需要は急減していきます。日本農業の高齢化も進展し、このままでは、日本農業は立ちいかなくなるのが目に見えるようになってきました。今までと同じやり方をしているは大変なことになる。一方で、日本の国内農業が衰退することによって、将来何かあった時に子や孫が飢えるということは絶対に避けなければならない。そんな中で、この3年間で日本の農政は大きく舵を切りました。その最前線で仕事できたことは、大変ではありましたが、本当に充実したありがたい機会でありました。

Q. 具体的には、どんなご苦労がありましたか?

さいとう健) 60年ぶりの農協改革のときは大変でした。当時は、自民党の農林部会長でしたが、自民党としての意見を、私の責任でまとめ上げねばならない。私は、フェアな運営に心がけ、すべての議員のご意見を聞こうとすることで党内調整を始めましたが、案の定、調整は難航し、一回2時間半の会議を8日連続で開くこととなりました。最後は怒号飛び交う中、ようやくとりまとめることができ、ほっとしましたが、友達が減ったのではないかと心配しています(笑)。

Q. TPPはいかがでしたか?

さいとう健) これも大変でした。交渉中は、農林部会長として、交渉を担当されている甘利大臣とずいぶんやり合いました。甘利大臣は交渉に前のめり過ぎではないか、席を立てて帰ってくるぐらいのことをやってくれ、みたいな発言を公の場でご本人に厳しく投げかけたりもしました。

しかしながら、一方で、TPPは、これが立ち上がりますと、世界経済の4割を占める世界最大の経済連携地域が出来上がり、世銀の分析によっても日本の経済が2.7%成長し、輸出も23%増大するというものであります。今後の日本の活力を考えた場合に、このアジア太平洋の活力を取り込んでいくことは、本当に大事なことです。

それはわかっていますが、一方で、さいとう健は、自民党農政の責任者であります。いかに日本の農業への影響を最小限に抑えながら、TPPを成功させるかという困難な仕事を抱えることとなりました。

(最終ページに続く)



TPP特別委員会の集中審議に連日出席し、農業分野に関して答弁。

(表ページから続く)

交渉が妥結し、さいとう健は農水副大臣となり、交渉結果を逐一精査することとなりました。その結果は、日本農業への影響は避けられないものであります。ただ問題は、それが耐えられないものなのかどうかであります。日本政府も交渉にあたっては農業への影響について細心の注意を払っていましたが、結果については対策もきちんと講じるということにしたので、さいとう健は、何とか踏みとどまることができたと確信しております。

ただ、農業の本当の問題は、TPPではありません。人口減少に備えてどう新しい挑戦をしていくかであります。同期の小泉進次郎・自民党農林部会長とともに、これからも新しい血で新しい展開を成し遂げていきたいと決意しています。

Q. 今、さいとう健さんが一番気になっている政策は何でしょうか?

さいとう健) アベノミクスです。安倍政権が誕生する前、先進国では、日本だけが15年にもわたるデフレで苦しんでおりました。デフレ経済の下では経済が委縮してしまう、何とかデフレから脱却しないといけないということでアベノミクスが実行に移されました。

ところが、3年半経ったけど、実感がない、アベノミクスは失敗だという声があります。

さいとう健は、実感がないということは、その通りだと思いますが、それがアベノミクスの失敗だったと断ってしまうことは、本当に危険だと声を大にして言いたいと思います。

景気が今一つパツとしないのは、中国経済の不安定化や消費税の8%への引き上げが予想以上に大きく響いたというアベノミクス以外の理由によるものであります。

これをアベノミクスの失敗だと断定して、今の路線を変更したら、再び日本はデフレに戻ってしまう。今ここでデフレに戻ってしまったら、今までの努力が無になるだけでなく、おそらくデフレ脱却の機会は長く失われてしまうでしょう。15年以上続いたデフレからの脱却です。そう簡単に治るものではない。

この道以外に、日本経済の再び安定経済路線に乗せてゆく道は、私には思いつかない。もし失敗だという方は、デフレ脱却のための対案を出していただきたい。これが、今さいとう健が最も気になっていることです。

後援会
入会は
コチラ

さいとう健 後援会事務所(千葉銀行おたかの森支店裏)
〒270-0137
流山市市野谷665-40-103
TEL:04-7157-6223 FAX:04-7157-6224

保存版完全リスト 日本を元気にする逸材125人

(年齢は2015年12月31日時点)

政治・官僚等	
小泉進次郎(34)	自民党青年局長、復興政務官を経て、現在は党農林部会長として農業対策に汗を流す
福田達夫(48)	自民党農林部会長代理。祖父・超夫、父・康夫という総理一家のサラブレッド
齋藤健(56)	農水副大臣。通産省出身。自民党農林部会長として農業改革やTPPに尽力した
吉田雄人(40)	横須賀市長。小泉進次郎のお膝元でありながら、自民党系候補に市長選で連勝
河野太郎(52)	昨年10月、国家公安委員長・行政改革担当大臣として初入閣

『文藝春秋 平成28年2月新春号
240ページ 一部抜粋』

こんな記事が
載りました!!

また、官僚出身で政策通とされる農水副大臣・齋藤健(56)は、小泉と当選同期。彼らが初めてパツジをつけた二〇〇九年は、自民党に大逆風が吹き、新人議員はわずか四人だった。彼らの結束は堅いという。



さいとう健農水副大臣と小泉進次郎農林部会長でがっちり握手。

さいとう健ホームページ
9月26日リニューアル!!

全面改装!スマホ・タブレットからも見やすくなります!
さいとう犬も進化!?ううご期待!!



「ミニ集会」のご案内

さいとう健は、皆様とひざをつき合せて意見交換ができるミニ集会を、活動の原点としております。二人でも三人でも結構ですので、企画してお呼びいただければ幸いです。



「国会見学」のご案内

さいとう健は、時間の許す限り、国会議事堂内を一緒に案内いたします。何名様でも結構ですので、お声かけいただければと思います。



討議資料

さいとう健 国会事務所
〒100-8981
千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館822号室
TEL:03-3508-7221 FAX:03-3508-3221